

## 第3学年 理数ゼミ・ESD探究 研究発表会

6月19日(水) 5～7限に「理数ゼミ・ESD探究」研究発表会を実施しました。3学年のESD探究は、下記のように10の傘に分かれ、各傘10班で構成されています。各班それぞれ班員と協力して、2学年時より課題研究に取り組んできました。

傘2：動く・動かす      傘3：生きる・育む      傘4：影響する  
傘5：聴く・聞こえる      傘6：感じる・触れる      傘7：伝える・話す  
傘8：見る・見せる      傘9：分ける・比べる      傘10：変える・転じる  
傘11：学ぶ・考える

今年1月に実施した中間発表会で得た助言などを元に4回目のリサーチを実施しました。その中で、データの収集方法や分析方法を工夫して、中間発表時よりもさらに深みのある研究内容にすることができました。発表は全員が1人で1回行い、前回の発表会よりも周りを見ながら、自分の言葉で発表することができました。また、数年ぶりに保護者をお招きすることができ、1年生も参加し、会場は活気に溢れました。たくさんの質問にも丁寧に答え、城南高校の最上級生として頼もしい姿を会場の方に見せることができました。



聴衆も熱心に参加し、質疑応答も活発な発表会となりました

理数コースでは、A0サイズのポスターを使用して発表を行いました。ポスターを指しながら説明するだけでなく、研究の際に使用した成果物を実際に見せながら発表する班もあり、理数ゼミで行ってきた課題研究のすべてを出し切ることができました。当日は1・2年生の理数コースの生徒や、先端技術体験講座でお世話になった大学の先生方にも発表を見ていただきました。仮説の検証方法や発表の態度など、高く評価していただいた点もありましたが、試行回数の問題や考察の仕方など、もっとこうすればよかったとアドバイスをいただいた点もあり、生徒たちにとって非常に有意義な時間となりました。今後は、いただいた質問やアドバイスをもとに、研究論文の作成を進めていきます。また、9月には英語によるポスター発表会が行われるので、その準備も同時に進めていきます。今回の日本語での発表以上に大変なものになることが予想されますが、生徒たちは次に向けて前向きに取り組むことができている様子です。

以下、生徒の感想文より抜粋です。

- ・興味深い研究ばかりでおもしろかった。1年生で初めて先輩の発表を聞いたときは違い、疑問をもちながら発表を聞くことができ、質問もたくさんできた。
- ・相手に理解してもらえるように話すことの難しさをあらためて実感した。専門用語などの理解しにくいことは、相手に応じて説明の仕方を変えるなど、臨機応変に対応することが大切だと思った。
- ・多くの人から助言や質問をもらえてためになったし、これからもこの研究を続けていきたいと思った。



ポスターを指しながら説明しています



多くの方に発表を聞いてもらえました